



門 二 14  
號 760  
卷

花譜卷之中

正月



万葉集よりうめやもじあやもよあり。冬より二月まで。  
まてむとひくをげむ百花はあやもらしてひく。中野の  
えたるゆへ。百花魁と稱も。雪霜を志れりて。君子乃  
操あり。且清香氣をくく乃むとせりていめそ  
ふし。故に和漢やも。富貴賢智愚賢不肖をぬる  
ても。て古今美人乃玩賞す。ハヤありそ。此乃乃詠  
を又けりて。花園をひくく。ハ。か。う。と。あ。り  
梅を以て。乃上首なり。て人。と。い。ふ。や。り。梅

花譜卷之中

乃程形<sup>解</sup>し。大正に紅白乃び人い定めの。もうち乃  
 品をあげてのり人なりし。中よつひと白きひとて  
 中一乃品と野よある江梅と云ふ。又野梅と云ふ。范菴  
 梅譜より  
 白梅ハまうく紅梅ハ紅なり。白梅ハ白人て音あり。  
 紅梅ハ赤いあり。あまも赤あり。紅梅ハい定なり。音  
 あり。九月よむらく。これ梅乃びはやまのあり。後音  
 山よれまうくはやくひくく。白人乃紅梅なりん先  
 ちありあまひくくを子梅とらひ山中平原より山の  
 邊温まうけて山の邊速あり。清梅ハ都々もらひ  
 くと。あま梅ハむも実も大なり。とへてあま本ハ梅も

ゆりてようりくさありがうくくあるありとつた。  
 梅ハ黒土沙土山中海邊宇郷暖地はむ乃梅ま  
 てもよりりくくはとつありし。又梅はうくま  
 形よあるあり清やとし大なる本もつてはま  
 枝乃ちうく切つるなり。くくは根まうり海<sup>の</sup>  
 派をわけて清やとし。梅をばぐまハまは乃枝ら桃<sup>う</sup>  
 杏乃枝まつてとし。これ農政全書より。或曰桃<sup>の</sup>  
 乃本枝をひきくまうりて梅をばぐし清やとく  
 へやとし。梅を梅とつけて清やとくくし。む乃時雪霜  
 つまはまうり。樹下にけりありをうりて花を尋る





四寸常子也。故長表也。本草綱目。濕地也。葉を食む毒ありとあり。

二月

山礬花

又礬膏也。名く和保らんちやけといふ。本  
三三四尺。すまじ。正月より三月まで。葉は  
むくひく。さうらう丁子に似たり。香遠し  
故にわやく七つ香と云。葉を又や。湿地に植  
せハ根をまき。平地よりうらうらう。さうらう  
し。又根をあらう。さうらう。山礬ハ根  
ちやけと云。さうらう。他をさうらう考へみ。

らんちやけ。さうらう。古今醫統曰。夜と  
あら。灰けをばて。蛭刺とあり。つ。あまハ漆乃  
を流ハ。登長。花史曰。大凡香花ハ糞をのそ。瑞香  
をば。又曰。澤とあり。小豆とあり。ひて。蛭  
刺をあらう。○梅雨の中より。作中とし。本年  
正月より。又正月二月。あまら。つ。さ  
し。○花丁子。あま花をらんちやけ。夏ハ葉を  
ち。あま花を。二月花といひ。○さうらう。れ  
らんちやけ。似たり。

香花 順和名。わやくと云。篤信。今。あまら。



辛夷花 糸の柳乃とく花の玉華の似てあま〜か  
はまうら白し。そ葉の〜。あまを〜。二  
月よ花ひ〜。

小橋 まい乃ひ〜く。倭よ彼岸橋といふ。是橋の引程  
なり。あも橋の似たり。

垂絲梅 ひげん梅より花やめをし。是ひげんさう〜  
けさ〜れ〜あ〜一節なり。あまひ〜んさう〜乃  
さ〜つ〜せ〜し。乃梅乃さ〜つ〜げ〜ん〜せ〜を〜  
や〜し。還地よハあ〜。めぐりよあ〜を〜ぶ〜う〜根下  
乃まを〜し。此樹を中よの〜を〜は〜は〜る〜

あ〜と〜し。

梅 ひ〜く梅ま〜乃花をひ〜く彼岸梅より十日  
け〜り遅し〜い言梅よは〜さ〜り〜り〜り〜り  
花乃〜の〜あ〜り〜て遅速あり。吾回乃魚好ひ〜  
梅を〜て〜し。花乃ひ〜り〜ハ立春より七十五日乃柳  
徒然ま〜う〜けり。はれ〜と〜今平安城乃ひ〜く梅ハ  
立春より六十五日と〜り〜と〜。年乃〜遅〜よ〜  
ア〜て遅速あり。さ〜し〜年ハ立春より七十五日乃  
は〜り〜る〜し。吉野乃梅も立春より六十五日  
と〜り〜と〜。乃〜の〜遅〜よ〜り〜て遅速ハ















入海して久くもくもくも。秋の根下のまきつらむ  
 へ。〇。うらうらうは。うらうらう。うらうらう。うらうらう。  
 月人し。根子葉さあぐ。中うれ。葉ふあけ。と実り。と苦  
 海棠花 二月の花をひく。鶴子。てお。とて二程  
 あり。実ある。ハ。海棠。さう。花。と。ひく。実。乃。さう  
 林檎。の。て。や。小。さ。う。夏。秋。熟。り。わ。く。も。さ。す。こ  
 あ。く。て。つ。ん。の。く。し。味。も。入。ん。こ。の。似。り。実  
 月。は。ら。ん。し。と。は。く。づ。み。は。け。の。種。也。種。は

つ。さ。う。の。は。ら。ん。と。も。ふ。葉。多。く。け。す。と。中。あり。ひ  
 有。ん。と。あ。く。し。け。く。花。さ。く。り。雨。後。は。虫。の。花。より  
 也。と。さ。う。さ。う。け。く。と。う。人。し。唐。詩。畫。譜。の。い。ふ。葉。も  
 と。さ。げ。し。も。花。盛。り。王。禹。孫。の。花。譜。の。海。棠。は  
 花。中。乃。郭。仙。と。稱。也。と。う。ら。う。く。古。來。を。貴。然。す  
 花。さ。り。花。乃。つ。あ。か。ひ。け。り。り。と。分。を。し。海  
 棠。乃。ゆ。あ。り。い。ま。こ。あ。丁。や。ハ。初。を。地。を。し。を。乃。つ。や  
 せ。う。さ。く。と。う。ら。ん。

**櫛** 木。凡。乃。彫。り。木。凡。ハ。あ。り。と。有。り。花。と。ひく  
 紅。也。あり。海。紅。を。あり。又。槓。櫛。と。い。お。多。数。あり。

ふあり。俗に氷をららんとし。花はけりて実  
とありて丸なりし。秋をよつりて熟とくけし。  
味をし。その用をあるはやくも性用。材より  
花梨よありし。

梨

つぎしやうなる。けりてとつ。つぎは二月。芽  
乃んし。三月は花をひく。李白、  
つぎは白雪をひく。韓退之、八千株の香を結し。東坡  
の一株の香をひく。その香をひく。長服をよ。梨花  
一枝を香雨とく。ハ。初を妃を梨花よとあり。唐よ  
く貴下れとく。やまよハ。けりし花とく。

人よし。只を実つ。つぎは唐の梨花ハ。その  
さくれば。中。梨ハ百果乃。実をよ。その香を  
味のよ。その香をひく。風をひく。その香を  
つぎは。その香をひく。肥て。その香をひく。豊に  
はよハ。その香をひく。玉の香をひく。  
し。玉の香をひく。その香をひく。その香をひく。  
実の。その香をひく。その香をひく。その香をひく。  
て。その香をひく。その香をひく。その香をひく。  
て。その香をひく。その香をひく。その香をひく。

薔薇

の香をひく。その香をひく。その香をひく。





を考へつゝふれんをひくけやむし

玫瑰花 資暇録園史未及李時珍食物本草は是の

なり。此區毒ありしより三四月の花をひく花紅

しあり。葉にらひさけけり。薔薇のあつらひ

を平くひなひり。信よの花よりふもりかからん

へし。年々くまむを搦や。むはあつらひ青む

なり。なるるハもさやあり園史日んあふり

わり。よまうくくは。只むむ枝新よせえく

わらうくし。久くあふむ。そくわくむんふ

をたれけりてり。そむむ。そむむ。そむむ。

なり。名花譜曰。根よりけり新枝けりわら

枯べし。すありむむけりしてむむむむ

酴醾花

け草葉ハ濃緑葉似て莖方ありてむ。けり

ありし草よりなり。薔薇よりむむむむむ

花ハさうり子葉ありて葉より似り。又菊社

母も似る。西園ありハ菊のむむむむむ

ハありん花より。三四月より。又むむむむ

あり。むむ。むむ。むむ。むむ。むむ。むむ。

よりむむし。翌年むむ。二年をむむ。老むハ根

を乃終る。むむ。むむ。王菟猗が詩。開至酴醾

花事了とつり。そは古人の詩に。人の花  
玩するとつり。とらう。よはさるるもあらうし  
格物論よりつり。農政全書にも。又一種の文ありと  
つり。篤信今業よりつり。海乃花とつり。を疎礮と  
つり。ひも乃花とつり。ひも乃花とつり。

繖花 蓮生八歳云。花葉玫瑰を似て白くはるる。  
香あり。花よりあり。ひも乃花とつり。紅夷よりある花  
よまはく。

芫花 小本あり。花葉毒あり。三月は花をひく。  
花乃花のまはく。花とつり。

好華とつり。花葉毒あり。花のまはく。世に花をひく。  
馬刺樹とつり。花葉毒あり。花のまはく。

胡蝶花 花のまはく。花のまはく。花のまはく。  
はく。花のまはく。花のまはく。

笑靨花 蓮生八歳よりつり。花のまはく。花のまはく。  
花のまはく。花のまはく。花のまはく。

棗棠花 花のまはく。花のまはく。花のまはく。  
花のまはく。花のまはく。花のまはく。



子... 純紅純白ありて... 又牡丹あり... 新玉と... 一と陽... 或は... とう... ふう... じ...

とう... じ... ふう... とう... じ... ふう... とう... じ...

















うす。只一葉のうす人し。葉のけきして枝をわらして  
きし。うす花のそしげや。ゆきうすし。○海成物後  
世裏果目。去のむら。うす。うす。うす。うす。うす。うす。  
よ。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。  
ら。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。  
うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。  
く。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。

花籃

系ハ牡丹の如く。むら。うす。うす。うす。うす。うす。  
棠のうすし。一枝の花つ。うす。うす。うす。うす。うす。  
ひ。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。

うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。  
うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。  
うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。  
うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。

櫻桃

三月の花をひく。うす。うす。うす。うす。うす。うす。  
棠のうす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。  
し。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。

不折

一葉のうす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。  
うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。  
うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。  
うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。うす。





